



環境再生保全機構
DO
DOWA
あきた
&リサイクル
フェスティバル
秋田市

PC3R
秋田本質ベレト
NEXCO
Honda Car
秋田県工エネルギー
普及指導員センター
秋田市
東北地域エネルギー
温暖化対策推進会議

十
志人の聖地

賞状

表彰状

環境大賞（環境保全部門）

NPO法人海の森づくり推進協会

貴法人は地域と連携した
大型海藻の養殖を通じて
環境保全活動に取り組まれ
県民の模範と認められましたので
これを表彰します

平成二十五年九月七日

秋田県知事 佐竹敬久



2013 10 8

「海の森づくり」を通して 山・川・海を健康を取り戻そう！

特定非営利活動法人 海の森づくり推進協会
代表理事 松田 恵明

1 もう1つの森づくり：水産はフロンティア産業。水産に対する偏見と誤解を払拭しよう！

- ・ 「海の生産性」は陸と同じと言われている。しかし、秋田県の農林水産業の年間総生産額は1,800億円。内水産はたったの30億円。
- ・ ハタハタを育む秋田県の可能性は高い。前浜に5億円ビジネスを20起業すると100億円ビジネスとなる。そのユニットは1市でも、秋田県でも、1漁協でも漁協支所でも良い。やれるところからやる。「海の森づくり」はその場づくりの基本である。
- ・ 活かせ！「海」や「263kmに及ぶ海岸線」といった特徴・資産・自然資源！

2. H23.9~H25.3 「新しい公共の場づくりのためのモデル事業：

男鹿における海の森づくりによる前浜の活性化」

- ・ 養殖の増殖効果を証明できるような継続的な「海の森づくり」を展開したり、前浜を活性化するためには生産物の価格設定が非常に重要である。1次産業を働き甲斐のあるものに出来なければ秋田の将来はない。また、「海の森づくり」の社会貢献に対する適正な評価を含め、独立採算制がとれる方法の検討が重要課題である。

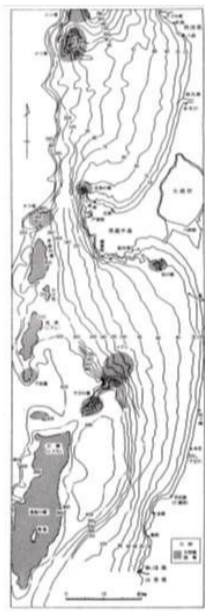


図1 秋田県沖の天然礁漁場分布図

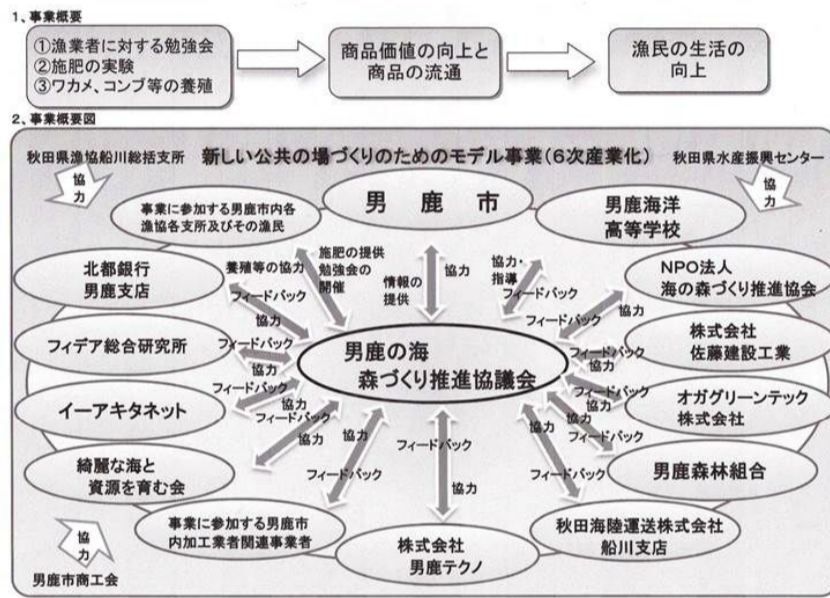


図2 男鹿の海 森づくり推進協議会組織図

秋田県における海の森づくり推進協会活動



写真1:「ハタハタの海を育むエコの森」との出会い(2010年秋)



写真2: 輸入された6tの海洋施肥剤 (2011.11.14)



写真3: 磯やけ海域への海洋施肥剤の散布 (2011.11.4~2012.2.14)



写真4: 松前から来た真昆布の種糸 (2011.11.30)

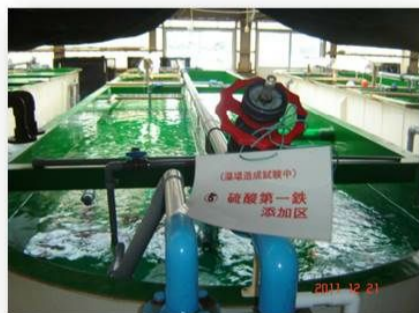


写真5: 水産振興センターも海洋施肥試験に参加 (2011.12)

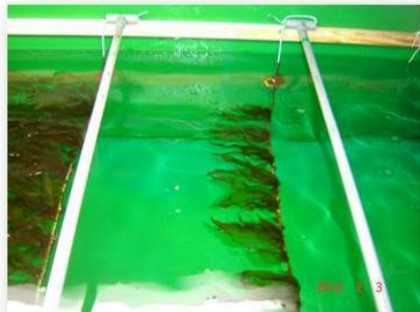


写真6: すくすく育った双六のコンブ (2012.2)



写真7: 爆弾低気圧後の双六港。施設全滅。(2012.4.4)



写真8: 双六海岸に打ち上げられた海藻の山。2012.4.6



写真9: 増川海岸には、殆ど海藻が打ち上げられなかった。



写真10: 鶴の崎海岸で6次産業化を目指す涉水産が起業(2012.10)



写真11: スーパーで、生鮮柔らかこんぶが大人気。(2013.3)